

当技術センターでは中小企業の皆さんの技術基盤の強化や技術者の養成、新事業の展開等に役立てていただくため、各種研究会を開催しています。今年度で開催予定で、新たに会員を募集する研究会の概要をご案内します。各研究会の詳しい内容や新しい情報は、当センターのホームページやメールマガジンで逐次お知らせしていきます。ご興味のある研究会についてはお気軽にお問い合わせください。

ものづくり分析評価技術研究会

府内中小企業の技術者の方々が、現場で生きる系統的な分光分析技術を学ぶための場を提供することを目的に、講演と分析装置の操作実習を交えた形で例会を開催しています。

これまでに『赤外分光』『ラマン分光』『近赤外分光』をテーマとして実施し、3年目となる昨年度は製品開発や品質管理のあらゆる場面で不可欠の分析手段となりつつある『ラマン分光』に改めてフォーカスした内容で実施しました。

令和4年度は、最も身近な分光技術である『赤外分光』と最後の未開拓領域と呼ばれる『テラヘルツ分光』をテーマとして実施する予定です。

★こんな方におすすめです！

- 日常の業務で分光測定機器を使用している方
- 分光分析技術を幅広く習得したい方
- 他社の技術者と情報交換や交流をしたい方

・活動内容

- 1) 分光分野の第一人者を講師とする講演会(年3回程度)
- 2) 当センターの所有機器を用いた操作実習(希望者を対象)

・研究会座長 尾崎 幸洋氏(関西学院大学名誉教授・フェロー)

・年会費 1名 5,000円

・定員 20名程度

・申し込み・問い合わせ先 基盤技術課 材料評価係
TEL:075-315-8633 E-mail:zairyoun@kptc.jp

※会員の募集開始は8月下旬頃を予定しています。

※(公財)京都技術科学センターとの共催事業として実施します。

京都光技術研究会(KPS)

京都光技術研究会(Kyoto Photonics Society)は、光技術を切り口として、企業連携による課題解決、新たな製品開発テーマの立ち上げを目的とした活動を行っています。

各企業の強みとなる技術を持ち寄ってグループ化を図り、共同開発から事業化を目指す「企業連携開発システムの実現」に取り組んでおり、企業連携による新製品開発を支援していきます。光に関連した技術をお持ちの企業や光技術と連携を考えている企業のご参加をお待ちしています。

★こんな方におすすめです！

- 光技術に関連することを幅広く習得したい方
- 光関連企業と連携を考えている方
- 他企業の企業、技術者と情報交換や交流をしたい方

・活動内容

- 1) 定例会(年8回) 外部講師による講演会、グループごとのミーティング、光技術のトレンド、ニーズの汲み上げ
- 2) グループ別技術検討会及び見学会(随時)
- 3) 交流会 会員間の連携を促進するための情報交換を目的とした交流会を開催(随時)
- 4) 光ものづくりセミナー
- 5) 展示会への出展 OPIE'18・19(横浜)、InterOpto2018(幕張)、2020(東京)、2021(東京)

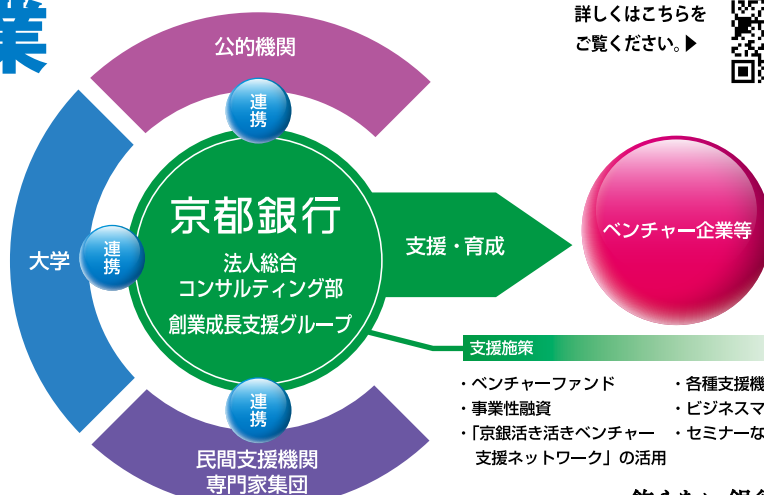
・運営体制 会長 山下 幹雄氏(北海道大学名誉教授)

アドバイザー 栗辻 安浩氏(京都工芸繊維大学教授)
田中 智子氏(同志社大学)
的場 修氏(神戸大学)

ベンチャー企業 支援業務の ご案内

業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資や
ご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 資金面の支援だけでなく、
公的機関・専門機関・大学等のネットワークである
「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」等を通じ、
経営相談をはじめベンチャー企業のあらゆるニーズにお応えします。



詳しくはこちらを
ご覧ください。▶



飾らない銀行
京都銀行

・年会費 1社 20,000円(1社から複数人での参加が可能)

・申し込み・問い合わせ先

研究会事務局(応用技術課 電気通信係)

TEL:075-315-8634 E-mail:denki@kptc.jp

京都実装技術研究会

京都実装技術研究会は、接合・実装技術を中心に電子機器の生産性や信頼性向上をめざす勉強会として1987(昭和62)年に発足しました。発足直後はフロン廃止への対応を探る活動が大きなテーマとなり、その後も鉛フリー化に代表される有害物質規制(RoHS)への対応や、電子部品の微小化への対応など、その時々新たな課題を解決するため、勉強会などを開催してきました。今年度も、以下の活動を通じて様々な課題解決に向けて取り組んでいく計画としています。

★こんな方におすすめです!

- 実装技術に関して慢性的にお悩みの方
- 実装技術の情報を求めている方

・活動内容

- 1) 定例会(年5回) 業界の最先端をつかさどる方々にご講演いただくセミナーを開催。実装業界に関わる最新技術動向や課題解決へつながる幅広い情報を学びます。
- 2) はんだ付け実技講習会(年1回) 実装技術の基本となる手はんだ作業について、実技実習を開催。はんだ付けの原理から、こて先の選び方、難しいはんだ付けの対処方法などを学びます。

・年会費 本年度については無料

・申し込み・問い合わせ先

研究会事務局(応用技術課 電気通信係)

TEL:075-315-8634 E-mail:jisso@kptc.jp

デジタルマニファクチャリング研究会

※開催地は北部産業創造センター(綾部市)です

ものづくり現場は、設計から製造までのあらゆるプロセスに

においてデジタル化が進み、今後はデジタルデータの一元管理により、情報共有だけでなく商品の性能・機能検証や製造プロセスにおける課題の予防、製造現場からのフィードバック情報を設計に反映するためのシミュレーション等、「フロントローディング」の思想が主流となることが予想されます。

当センターでは、デジタルマニファクチャリング研究会を開催し、中小企業のものづくり現場におけるフロントローディング化を後押しします。

★こんな方におすすめです!

- 自社の課題にシミュレーションを使用したい方
- デジタルデータの活用を習得したい方
- 他の企業、技術者と情報交換や交流をしたい方

・活動内容

- 1) 高速開発支援CAE活用セミナー
CAEの基礎のセミナーから最新技術トピックスを紹介
- 2) ワークショップ
CAEやその周辺技術に関するワークショップを開催
- 3) CAE基礎トレーニング 毎週水曜日 9:00~17:00
・毎週水曜日は演習課題の自習用に会員様にCAEを開放。
・決められたモデルを使ってCAEのオペレーションを習得できるよう進めます。
- 4) 中丹商品開発部(スピンオフ会)
・新商品の開発とCAEやデジタルツールの活用、異業種間の連携を促進するための検討会を2ヶ月に1回開催します。
・個々の企業の強みを活かし、繋げていくためのきっかけづくりを行います。

・年会費 無料

・申し込み・問い合わせ先 中丹技術支援室

TEL:0773-43-4340 E-mail:chutan@kptc.jp

上記のほか、製品開発企画研究会(北部産業創造センターで開催)、デジタル対応産業創出研究会(けいはんな地域で開催)を実施する予定です。

●お問い合わせ先/ 京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画連携係 TEL:075-315-8635 E-mail:kikaku@kptc.jp



あなたの創業・第二創業を京都中信と日本公庫の連携で強力にサポート

ご融資金額 合計3,000万円以内

ご融資期間 運転資金/7年以内 設備資金/10年以内 + 所定の期間

ご融資利率 所定の利率(変動金利型) 所定の利率(固定金利型)

当金庫ホームページにて商品概要およびチラシをご覧ください。
<https://www.chushin.co.jp/>

■ お問い合わせ先 ■ または下記へお問い合わせください ■

京都中央信用金庫 地域創生部 地域創生課 フリーダイヤル ☎0120-201-959 (平日9:00~17:00) 京都中央信用金庫 当金庫本支店およびFAXフリーダイヤル ☎0120-201-580 (24時間受付)

日本政策金融公庫 京都支店 国民生活事業 ☎075-211-3230 (平日9:00~17:00) 日本政策金融公庫 西陣支店 ☎075-462-5121 大津支店 ☎077-524-1656

お申込みに際しましては当金庫および日本政策金融公庫にて所定の審査をさせていただきます。審査結果によってはご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。 国民生活事業 守口支店 ☎06-6993-6121 吹田支店 ☎06-6319-2061

奈良支店 ☎0742-36-6700 金利情報・返済額の試算等 詳しくは窓口まで

当金庫独自の「京都中信 創業スタートダッシュ」もお取り扱いしております。詳しくは京都中央信用金庫本支店までお問い合わせください。

京都中央信用金庫
2022年2月1日現在